

平成29年度 学校経営計画書

学校番号	31	学校名	静岡県立清水東高等学校	校長名	鈴木 照彦
------	----	-----	-------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

「金剛の意志」を持つ、知・徳・体を兼ね備えた人格の育成を目指す。

実践目標

「誠実、清楚、気品ある人格を磨こう。自主、自律、旺盛な研究意欲を持とう。明朗、闊達、責任感をもって人事を尽くそう。」のもとに、清高の良き伝統と自主・自律の校風を継承発展させ、高い志をもって社会の発展に貢献する指導的人材を育てる。

(2) 目標具現化の柱

- ア 基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、学ぶ意欲や思考力、コミュニケーション能力、国際性などを育み、確かな学力を育成する（知を積む）
- イ 「有徳の人」（自立・共生・社会参加）を育成する（徳を琢く）
- ウ 健康でたくましい心身を育成する（身を鍛える）
- エ 高い志を育み、進路希望の実現を図る
- オ 安心・安全で質の高い教育環境を整備する
- カ 開かれた学校づくりを推進する
- キ 教職員の資質の向上とワーク・ライフ・バランスを推進する
- ク 確実に効果的な事務室運営を行う

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	授業改善を進める（学ぶ意欲が高まり、志望大学に合格する学力が身に付く授業を行う）	公開授業、相互授業参観、アクティブ・ラーニングの効果的な取組の研究と実践、生徒による授業評価、校内外試験の結果の分析等	「授業が分かる」(80%以上) 「指導のレベルに満足」(80%以上)	研修 進路 教務
	授業、部活動、家庭学習のリズムを確立させる	学習時間調査、各教科間の課題の調整、部活動終了時間（下校19時）の徹底 個人面談の実施	週5日以上家庭学習に取り組む生徒95%以上 年3回以上	教務 生徒 学年
	SSH事業を推進する	SSH部を中心とした組織的な取組	普通科課題研究の指導体制の充実 関連の全国大会へ出場	SSH
	読書の質と量を高める	各教科で読書の奨励	貸出数の向上	図書
	国際性を育てる	海外研究旅行、英語授業の改善、国際交流の推進、課題研究を英語で表現	計画の確実な実施	学年 SSH 英語
	教育課程（週時程を含む）の研究をする	教務部を中心に研究する	教育課程の課題の段階的な改善	教務
イ	自主・自律の精神、思いやりの心、規範意識を育む	学校行事の生徒による自主的運営	文化祭の満足度80%以上	生徒

様式第1号

		清高琢徳プロジェクトの推進	計画の確実な実施	生徒 総務 管理職
		1部活1ボランティア	すべての部活動で実施	生徒
		ピア・サポートの普及	年27回の研修実施	保健
		清掃の監督・指導	監督・指導の確実な実施	保健
		保護者、警察の協力を得て交通安全指導	年2回	生徒
		いじめ防止対策基本方針に基づく取組の実施	年間計画及びいじめへの対処の確実な実施	生徒
		スマートフォン等の使い方の指導の充実	生徒会やPTAでの取組	生徒 総務
ウ	基礎体力を向上させる	体育の授業で計画的に取り組む	新体力テストで10位以内	体育
	充実した部活動を継続し、たくましい心身を育成する	部活動顧問会の開催、外部人材の活用、「清高健児を応援する会」による部活動支援等	全国大会5部活、県大会10部活以上	生徒
エ	高い志を育み、第1志望の大学合格率を向上させる	進路シラバスの作成と、学年段階に応じた進路カリキュラムに基づく指導	内容を充実させ確実に実施 国公立大学の合格者50%以上	進路 学年
		進路行事（大学訪問、卒業生との交流会、進路ニュースの発行、特別指導、土曜講座、学習合宿等）		進路 理数科
		プロフェッショナルと語る会、文化講演会、芸術鑑賞教室等		SSH 図書
オ	災害時の備えを充実させる	一斉メールの加入促進	前年度以上	総務
		危機管理マニュアルの周知徹底	職員研修の実施	総務
	校舎改修工事の実施に伴う諸問題の対応に最善を尽くす	県の担当課、工事業者との綿密な打合せにより、円滑な実施を促進する	教育活動の確実な実施と校舎改修工事の両立を図る調整を確実に実施	管理職 事務 委員会
	施設の危険・破損個所の改修を迅速に行う	月1回の点検	確実な実施	事務 安全衛生委
	悩んでいる生徒を組織的に支援する	欠席が多い等の生徒の情報の共有・対処	毎月実施	学年
カ	学校関係者、地域の中学生・保護者に学校の情報を発信する	ホームページのタイムリーな更新、清高メールの発信	週1回程度	情報 管理職
		公開授業や1日体験入学の充実	多くの参加者を確保する	研修 教務

様式第1号

				理数科
		理科の不思議実験講座	年3回	S S H
		広報誌の作成配布	年2回	全教職員
		中学校訪問	年2回	全教職員
	学校行事や生徒会活動で地域貢献をする	文化祭などでの地域との連携やまんぷくコンサートの実施	計画の確実な実施	生徒
	外部の方の意見を学校経営に生かす	学校評議員会、学校関係者評価委員会、コンプライアンス委員会の実施と意見の学校運営への反映	各委員会の計画的な実施	研修 管理職
キ	教職員が資質の向上に努める	人事評価制度の効果的な実施	「信頼できる先生がいる」 (80%以上) 校内研修年3回	管理職
		校内研修、総合教育センターの研修、各教育研究会、予備校の講座等への参加		研修
	教職員が危機管理意識、コンプライアンス意識を高める	計画的・効果的な不祥事根絶研修の実施	毎月1回実施 不祥事0件	管理職
	時間外勤務を縮減する	部活動の休みの日を適切に設ける、定時退庁日の呼び掛け、勤務時間の割振りの徹底	時間外勤務を前年度より少なくする	管理職
ク	教育目標に沿った学校経営予算の編成・執行を行う	管理職間の綿密な情報の共有	毎週、管理職の打合せを実施	管理職
	法令に基づいて正確かつ迅速に事務を遂行する	マニュアルに沿ったチェックの履行	監査・検査における指示・注意0件	事務